

突っぱり強力2段ハンガー

品番 TNP-3

このたびは当製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。使用前にこの取扱説明書を最後までお読みの上正しい使い方でご活用ください。この取り扱い説明書は組み立て後も捨てず大切に保管しておいてください。

- 製品外寸法:(約)取り付け高さ範囲200cm~275cm 幅56~95cm 奥行き10cm
- 耐荷重:15kg×2段 合計30kg

取り扱い説明書

部品一覧

※組み立て前に下図の部品がそろっているか確認してください。

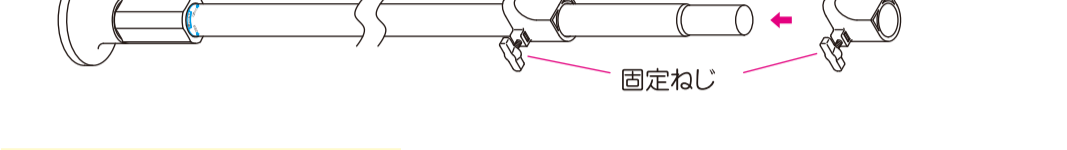
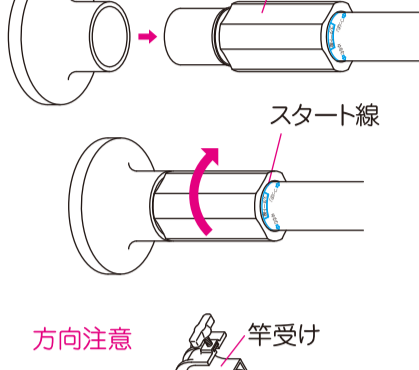
下支柱 グリップ 2本	キャップ 4個	パネケース パネ 2個
中間支柱 ストップスリーブ 2本	長さ固定ねじ 注意 先端がキリ状 2本	竿受け 固定ねじ 4個
上支柱 ストップ線シール 2本		
ハンガーパイプ 2本		

組み立て方法

- 本製品は、ネジ、釘を使わずに支柱を天井と床に強力に圧着して取り付けますので、下地のしっかりしている場所に取り付けてください。やむをえず弱い所に取り付ける場合は、破損を防ぐため、市販の木板などで補強することをおすすめします。
- 和室の天井は破損したり、変形する恐れがあるので取り付けしないでください。
- 傾斜した天井、床面には取り付けしないでください。転倒の原因になります。
- 火気や熱源のそばには、取り付けしないでください。
- 組み立て、設置はお二人でしていただくことより容易に行えます。
- 組み立ては、十分な場所で行ってください。また、床などにキズがつかないようにあて布をして行ってください。
- パイプ端面には直接手を触れないでください。ケガの恐れがあります。(手袋を着用して作業を行ってください。)
- 改造や分解は危険ですのでしないでください。
- 圧着固定式ですので、ネジ類はしっかり締め付けてください。弱いと本体の転倒やハンガーパイプの落下の原因になります。
- 小さな部品等がございます、作業中は特にお子様にご配慮ください。

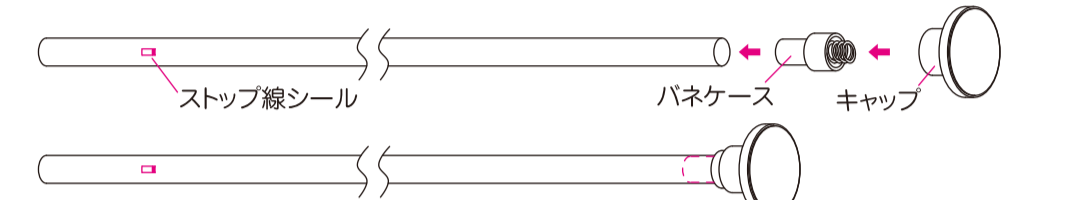
■手順1 下支柱の組み立てと確認

- ①下支柱のグリップの部分にキャップをはめます。(カチッ音がするところまで押し込んでください。)
- ②グリップを「つっぱり」の表示方向に回し、グリップが動くことを確認します。次にグリップの端部をスタート線の位置までもどします。
※必要以上のもとしすぎは、破損の原因になります。(再度、取り付け直す場合はグリップを必ずスタート位置まで戻してから行ってください。)
- ③竿受けを向きを間違えないように2個通します。
※竿受けにセットされている固定ねじを下支柱に通るまでゆるめながら行ってください。(ゆるめないとパイプに通らなかつたり傷の原因になります。)



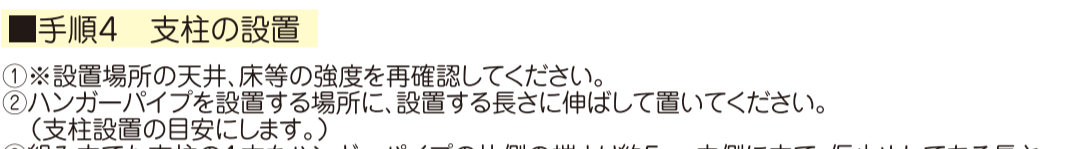
■手順2 上支柱の組み立て

ストップ線シールと反対側のパイプ端面にパネケース、キャップの順番に組み付けます。



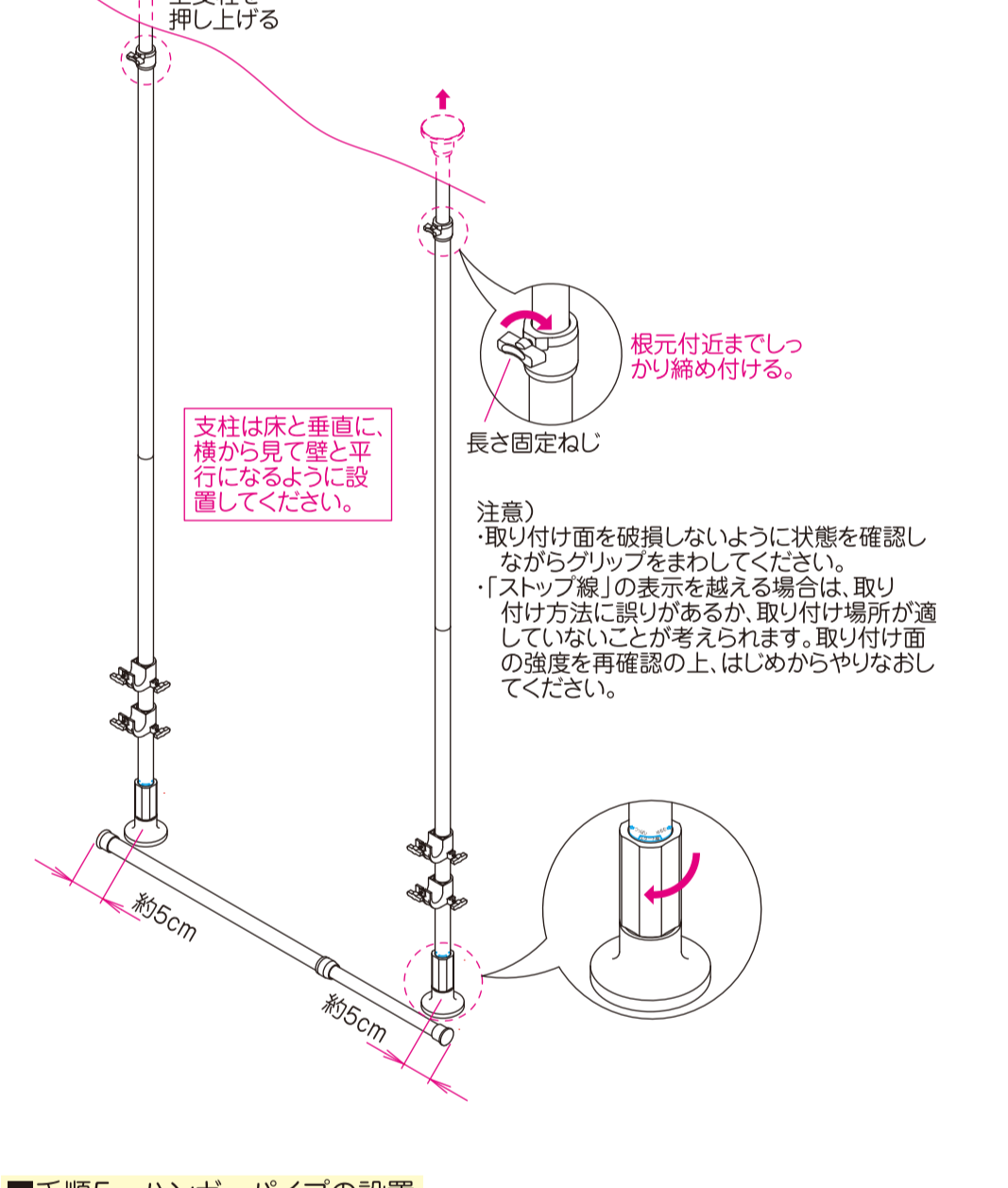
■手順3 支柱全体の組み立て

- ①下支柱に中間支柱を連結させます。
- ②次に上支柱を差し込みます。
- ③ストップスリーブに長さ固定ねじをねじ込み、上支柱を仮止めします。
注意:この時、上支柱を垂直に立てたときに上支柱が滑り落下しない程度に仮止めしてください。



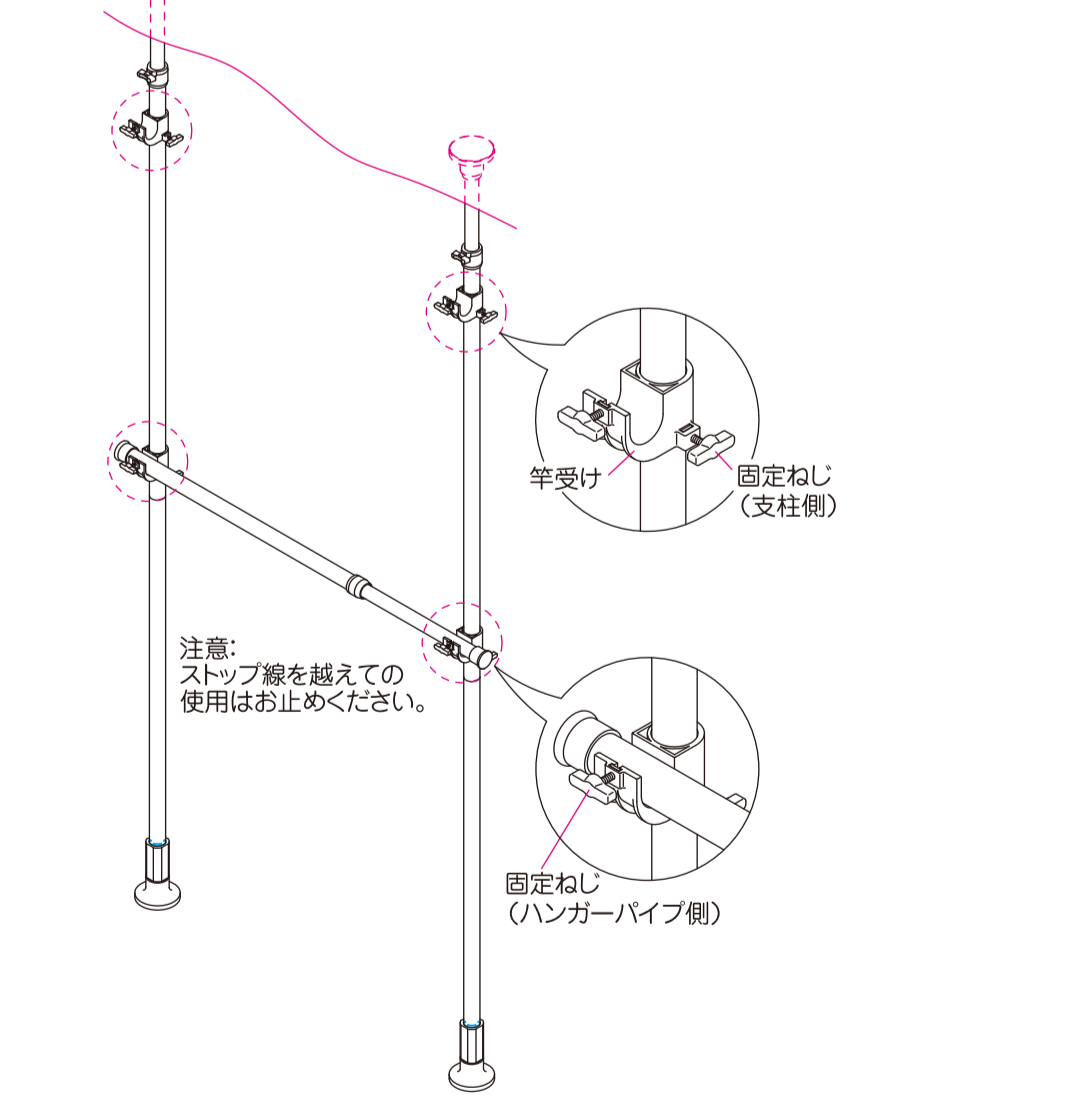
■手順4 支柱の設置

- ①設置場所の天井、床等の強度を再確認してください。
- ②ハンガーパイプを設置する場所に、設置する長さに伸ばして置いてください。(支柱設置の目安にします。)
- ③組み立てた支柱の1本をハンガーパイプの片側の端より約5cm内側に立て、仮止めしてある長さ固定ねじを一旦ゆるめて、上支柱のキャップが天井面に当たるまで押し上げます。
(注意:この時、上支柱を離すと急激に落下します。)
- ④上支柱のキャップをすき間が空かないように天井に押し当てたまま、長さ固定ねじを根元付近までしっかり締め付け、長さを固定します。(締め付けが弱いと転倒の原因になります。)
- ⑤支柱が垂直になるよう注意し、下支柱のグリップをシール表示の「つっぱり」の方向にまわし、支柱が倒れない程度に仮圧着固定をしてください。
- ⑥もう1本の支柱をハンガーパイプの反対側の端より約5cm内側に立て、③④⑤の手順で仮圧着固定してください。
- ⑦支柱が2本とも垂直になるように調整してください。
- ⑧取り付け面を破損しないように状態を確認しながらグリップを「つっぱり」の方向にまわし、グリップの回転が固くなるまでしっかり圧着固定します。2本とも圧着固定したら、支柱を引っ張ってしっかり圧着固定されているか確認してください。



■手順5 ハンガーパイプの設置

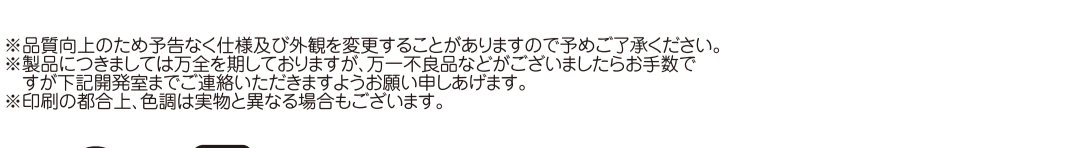
- ①竿受けの支柱側の固定ねじを一旦ゆるめて使用したい高さ位置まで移動させ、ゆるめた固定ねじをしっかり締めます。(左右の高さは同じにもするように調整してください。)
- ②次にハンガーパイプを受ける側の固定ねじを4か所ともゆるめます。
- ③ハンガーパイプを竿受けに掛けてずれない程度に固定ねじをしめます。
- ④全てのねじを再度確認しハンガーパイプを乾拭きしてからご使用ください。



△ 使用上の注意事項

- この商品は屋内でご使用ください。また、他の用途には使用しないでください。
- 浴室等湿気の多い所での使用はお止めください。(サビや破損の原因になります。)
- 洋服の重みで床が沈み、圧着力が弱くなって転倒する恐れがありますので使用開始後もグリップを回して圧着を確認し、圧着力を維持してください。
- 支柱やハンガーパイプを強く引っばったり、ゆすると転倒や破損の原因になり危険です。また本品によじのぼったり、ぶらさがする行為は絶対にしないでください。お子様はとくにご注意ください。
- 万一に備え、危険物・貴重品・壊れやすいもの等を掛けたり周囲に置いたりしないでください。
- 表示の寸法、耐荷重の範囲内でご使用ください。(ハンガーパイプ1本当たり約15kg)
※耐荷重は取り付け幅や、取り付け面(天井、床面)の状態や、取り付け方によって下がる場合がありますのでご注意ください。ハンガーパイプの代わりに物干しロープなどを使用すると支柱が倒れる場合がありますので使用しないでください。
- 荷重は均等に掛け、急激にはかけないでください。
- 高温・多湿になる所や、直射日光が当たる場所では使用しないでください。
- ストーブなどの火気のそばでは使用しないでください。衣類に火が燃え移ったり引火の恐れがあります。
- 取り付け後2~3日後、圧着状態を確認し、弱いときは圧着力を増してください。また、使用しているうちにねじ等のゆるみが発生し、ぐらつきが大きくなる場合がありますので定期的に点検(1ヶ月に2回程度)締め直しをしてください。
- 設置場所を変える場合は、ハンガーパイプをいったん外してから支柱を移動させてください。
- 使用中に変形や破損、ひび割れなどがないか、定期的に点検してください。もし、異常が見つかった場合は、直ちに使用を中止してください。
- 汚れは、水で薄めた中性洗剤で拭き取り、洗剤分が残らないよう拭き取った後、乾いた布で拭きとってください。たわし、磨き粉で磨くと傷が付きやすくなります。
- 消臭剤、芳香剤、化粧品、整髪料、酸性またはアルカリ性洗剤、油剤、また、ベンジン・シンナーなど有機溶剤の付着は変質劣化の原因になります。直ちに取除いてください。
- 天災などの不可抗力や、不当な使用・改造等による故障・破損などに対する補償等はいたしかねます。

※品質向上のため予告なく仕様及び外観を変更することがありますので予めご了承ください。
※製品につきましては万全を期しておりますが、万一不良品などがございましたらお手数ですが下記開発室までご連絡いただきますようお願い申し上げます。
※印刷の都合上、色調は実物と異なる場合もございます。



材質表示
パイプ…鉄パイプ・エポキシ樹脂粉末塗装
樹脂部品…ABS樹脂・PP樹脂・合成ゴム
パネ…パネ鋼・メッキ仕上げ
ねじ類…鉄製・メッキ仕上げ